

# 都民生活に関する世論調査〈概要〉

平成30年11月

## 調査実施の概要

### 1 調査目的

都民の日常生活に関わる意識や、東京に対する意識を捉えるとともに、都政に対する都民の意識や意見・要望を把握し、今後の都政運営の参考とする。

また、今回は随時テーマとして、東京に暮らす外国人との関わりや外国人が増えることの影響、行政に望むことなど、多文化共生に関する意識等を調査した。

### 2 調査項目

- (1) 暮らし
- (2) 住んでいる地域
- (3) 東京
- (4) 都政への要望
- (5) 多文化共生

### 3 調査設計

- (1) 調査対象：東京都全域に住む満18歳以上の男女個人
- (2) 標本数：3,000標本
- (3) 標本抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
- (4) 調査方法：調査員による個別訪問面接聴取法
- (5) 調査期間：平成30年7月6日～7月22日/8月21日～8月31日
- (6) 調査実施機関：株式会社 サーベイリサーチセンター

### 4 回収結果

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| (1) 有効回収標本数 (率) | 1,856標本 (61.9%) |
| (2) 未完了標本数 (率)  | 1,114標本 (38.1%) |

東京都生活文化局

# 調査結果の概要

※nは質問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す

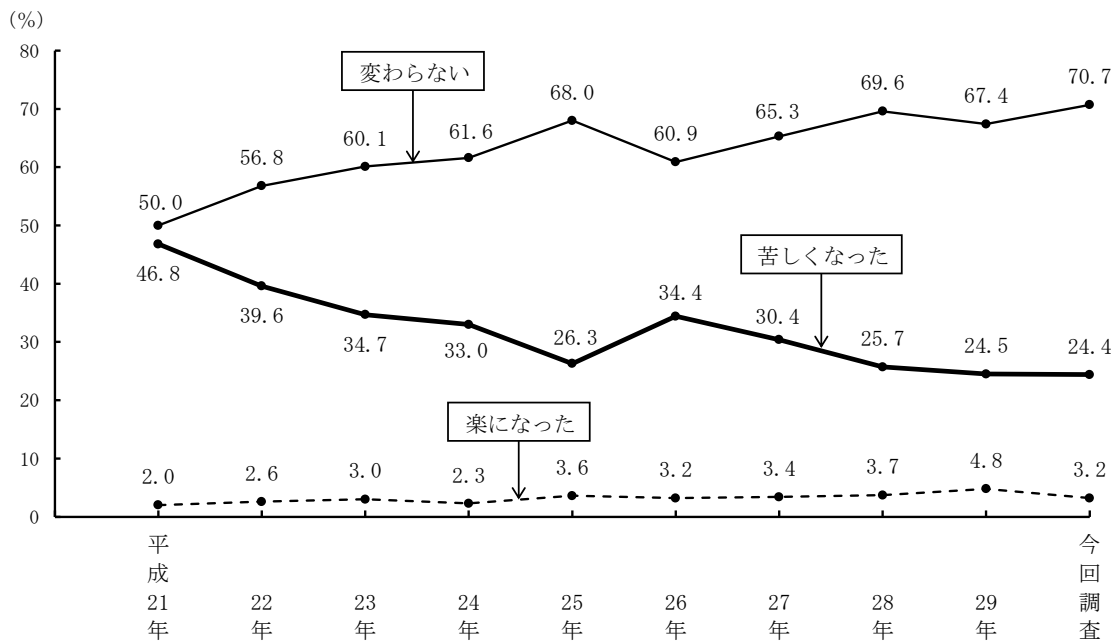
※M. A. はいくつでも選択、5M. A. は5つ選択、3M. A. は3つ選択

※M. T. は回答の合計をnで割った比率

## 1 暮らし

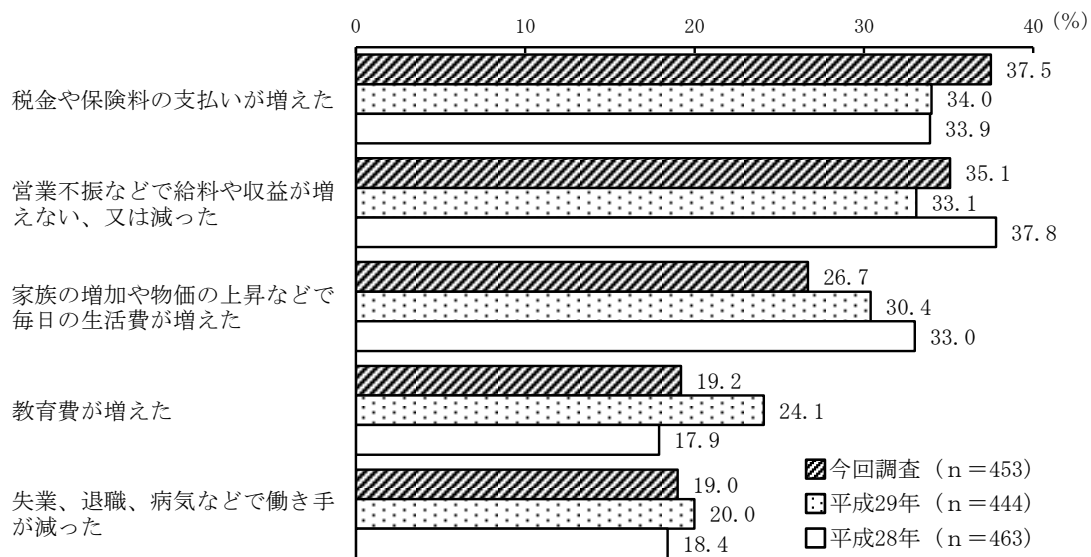
(1) 暮らしむきの変化：暮らしは、今年の今ごろと比べて楽になったか、苦しくなったかを聞いた。  
(本文P3～P8)

- ・「変わらない」は71%（昨年より3ポイント増加）
- ・「楽になった」は3%（昨年より2ポイント減少）



[暮らしむきが苦しくなった理由]：「苦しくなった」と答えた人（453人）に、その理由を聞いた。  
(M. A.) (上位5位)

- ・「税金や保険料の支払いが増えた」が38%でトップ（昨年より4ポイント増加）



(2) 暮らしの余裕：暮らしの余裕について聞いた。

(本文P9～P13)

- ・『余裕がある』は54%（昨年より1ポイント減少）
- ・『余裕がない』は45%（昨年より2ポイント増加）

n	今の暮らしで					『余裕がある』 (計)	『余裕がない』 (計)
	十分余裕がある	あればまあまあだ	わからない	ではまだまだ余裕がない	ではとてもやりきれない		
今回調査 (1,856)	5.2	49.1	0.8	38.1	6.8	54.3	44.9
平成29年 (1,810)	5.4	49.6	2.1	36.7	6.3	54.9	43.0
28年 (1,805)	4.7	47.1	0.9	40.1	7.1	51.9	47.2
27年 (1,900)	3.6	46.2	0.9	41.7	7.6	49.8	49.3
26年 (1,850)	4.5	45.9	0.7	40.4	8.4	50.4	48.9
25年 (2,010)	4.8	43.9	2.6	41.2	7.4	48.8	48.7
24年 (2,002)	3.6	44.7	2.4	41.0	8.3	48.3	49.3
23年 (2,009)	4.0	45.2	2.5	40.5	7.8	49.2	48.3
22年 (2,013)	4.0	41.9	0.7	45.4	8.0	45.9	53.4
21年 (2,025)	2.8	39.7	0.9	46.4	10.2	42.5	56.6

(注1) 『余裕がある』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計

『余裕がない』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

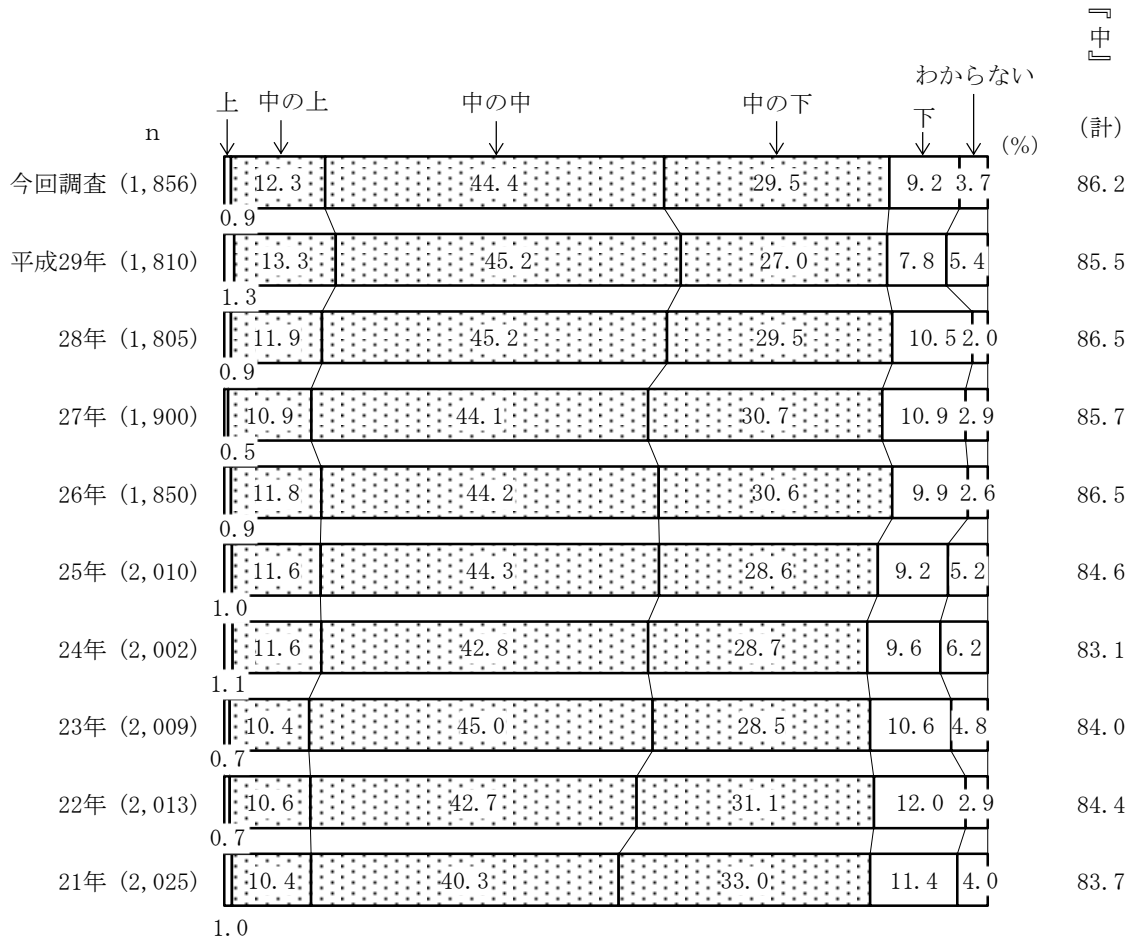
(注2) 統計比率を合算した比率は、個々の数値を合算して求めているため、比率の合計とは一致しない。

(以下同様)

(3) 生活程度：5段階に分けた生活程度がどれにあたると思うか聞いた。

(本文P14～P17)

- ・『中』は86%（昨年より1ポイント増加）
- ・「下」は9%（昨年より1ポイント増加）

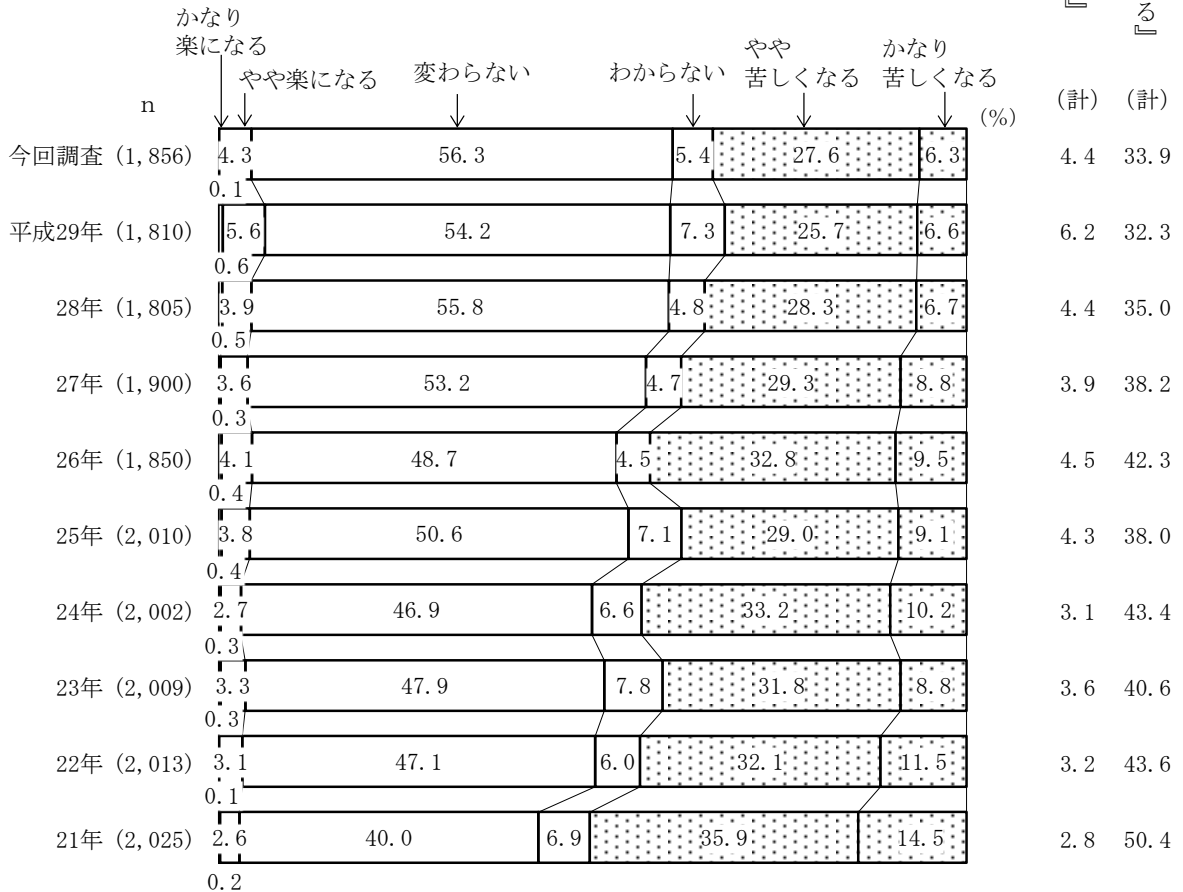


(注) 『中』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

(4) これからの暮らしむき：これからの1年間の暮らしむきを聞いた。

(本文 P 18～P22)

- ・『楽になる』は4%（昨年より2ポイント減少）
- ・『苦しくなる』は34%（昨年より2ポイント増加）
- ・「変わらない」は56%（昨年より2ポイント増加）

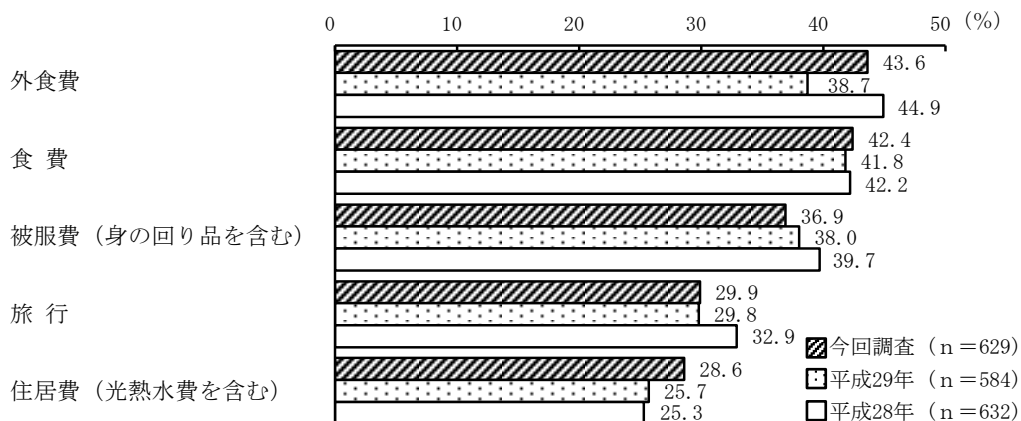


(注) 『楽になる』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計  
『苦しくなる』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

(5) 今後切りつめていくもの：これから1年間の暮らしむきが、「やや苦しくなる」「かなり苦しくなる」と答えた人(629人)に、今後切りつめていこうと思うものについて聞いた。(M. A.) (上位5位)

(本文 P 23～P 25)

- ・「外食費」が44%でトップ（昨年より5ポイント増加）
- ・「食費」42%、「被服費（身の回り品を含む）」37%が続く



(6) 生活満足度：現在の生活に満足しているかどうか聞いた。

(本文 P 26～P 29)

- ・『満足』は54%（昨年とほぼ同様）
- ・『不満』は41%（昨年より1ポイント増加）

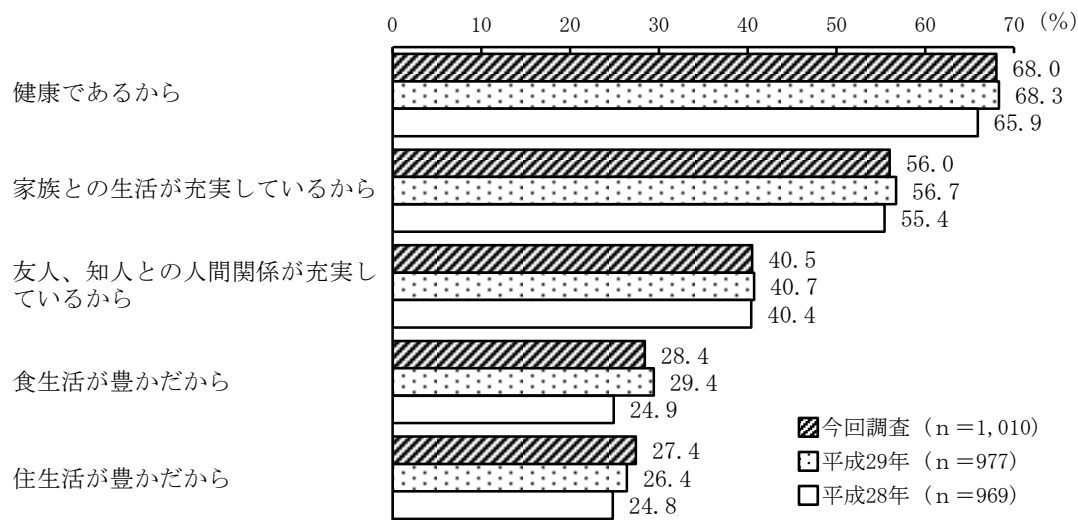
n	生活満足度 (%)					『満足』 (計)	『不満』 (計)
	大変満足している	まあ満足している	わからない	やや不満である	大変不満である		
今回調査 (1,856)	4.5	49.9	4.7	33.6	7.2	54.4	40.8
平成29年 (1,810)	4.5	49.4	5.8	33.3	7.0	54.0	40.2
28年 (1,805)	4.4	49.3	4.8	33.1	8.4	53.7	41.6
27年 (1,900)	3.0	47.8	4.1	35.9	9.1	50.8	45.1
26年 (1,850)	3.6	49.4	3.6	34.0	9.5	53.0	43.5
25年 (2,010)	4.3	49.5	4.9	32.6	8.7	53.8	41.3
24年 (2,002)	3.6	49.9	4.6	33.9	8.0	53.4	42.0
23年 (2,009)	4.0	49.4	3.8	34.1	8.6	53.5	42.7
22年 (2,013)	2.9	44.8	4.1	36.8	11.5	47.6	48.3
21年 (2,025)	2.8	42.6	4.5	37.5	12.6	45.4	50.1

(注) 『満足』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計  
『不満』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

(7) 満足の理由：現在の生活に「大変満足している」「まあ満足している」と答えた人（1,010人）に、その理由を聞いた。（M. A.）（上位5位）

（本文 P 30～P 32）

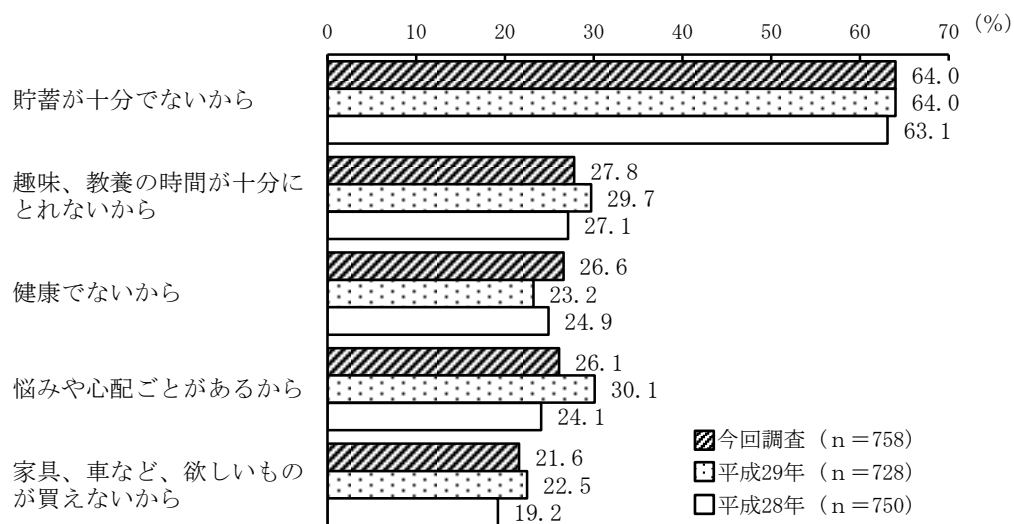
- ・「健康であるから」が68%でトップ（昨年とほぼ同様）
- ・「家族との生活が充実しているから」56%、「友人、知人との人間関係が充実しているから」41%が続く



(8) 不満の理由：現在の自分の生活に「やや不満である」「大変不満である」と答えた人（758人）に、その理由を聞いた。（M. A.）（上位5位）

（本文 P 33～P 35）

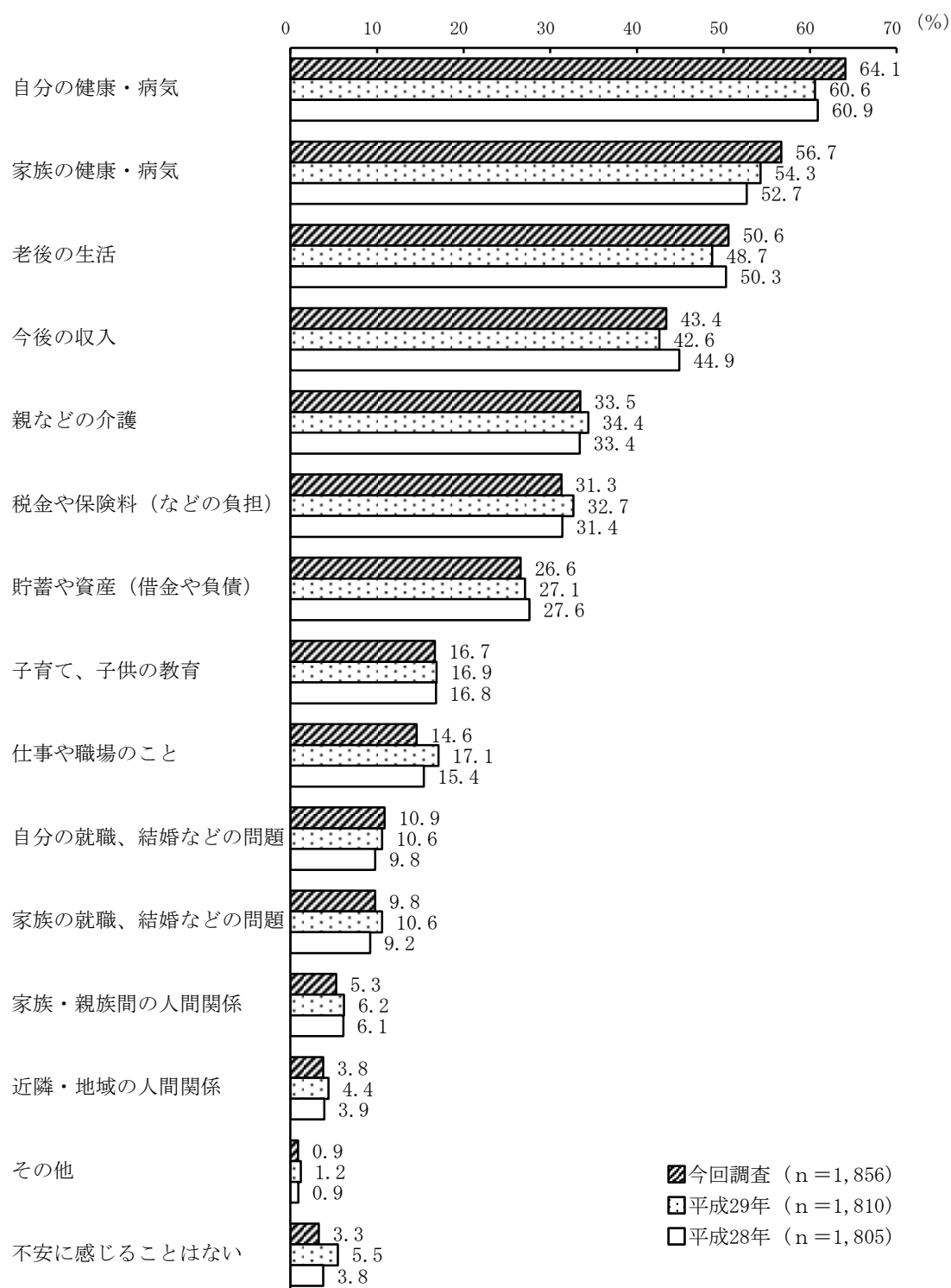
- ・「貯蓄が十分でないから」が64%でトップ（昨年と同様）
- ・「趣味、教養の時間が十分にとれないから」28%、「健康でないから」27%が続く



(9) 今後の生活の不安：今後の生活で不安を感じていることを聞いた。(M. A.)

(本文 P 36～P 39)

- ・「自分の健康・病気」が64%でトップ（昨年より4ポイント増加）
- ・「家族の健康・病気」57%、「老後の生活」51%、「今後の収入」43%が続く

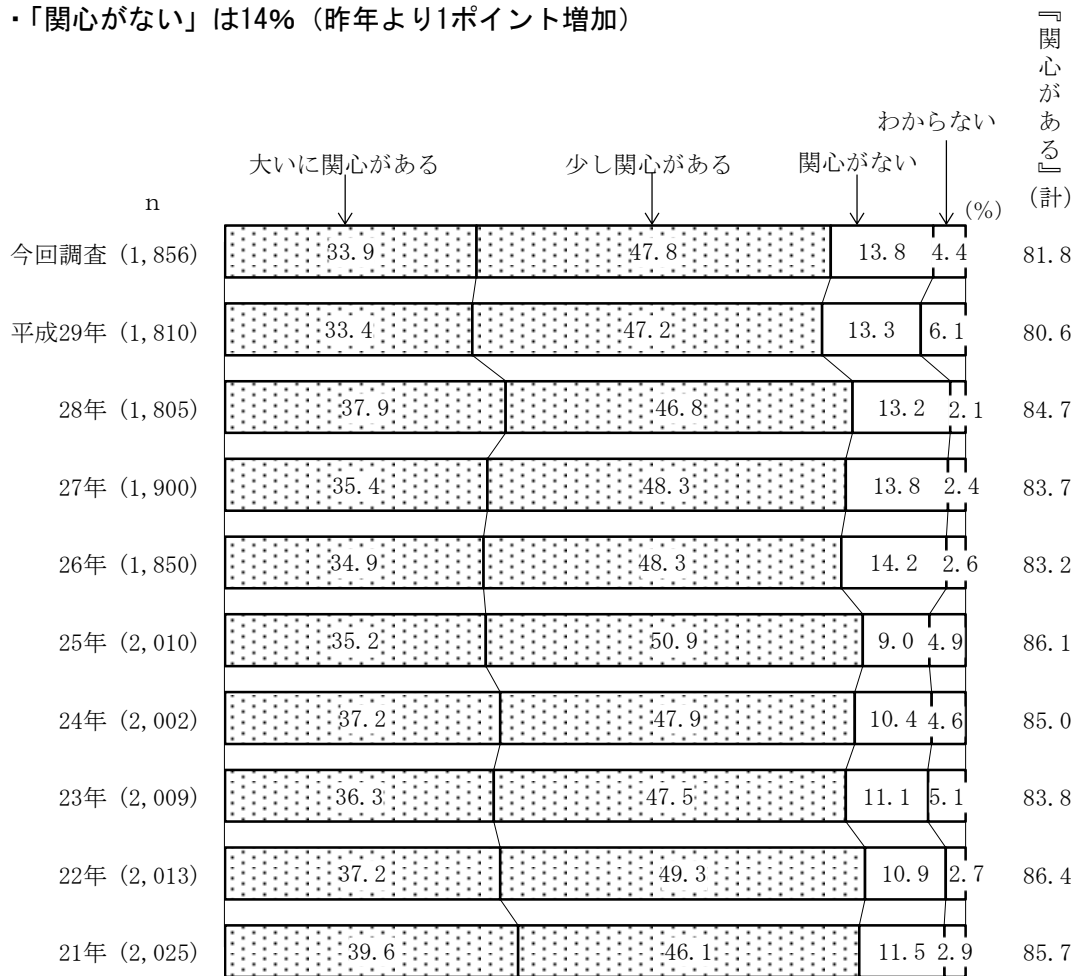




(10) 税金への関心度とその内容：税金について関心があるかどうか聞いた。

(本文 P 40～P 45)

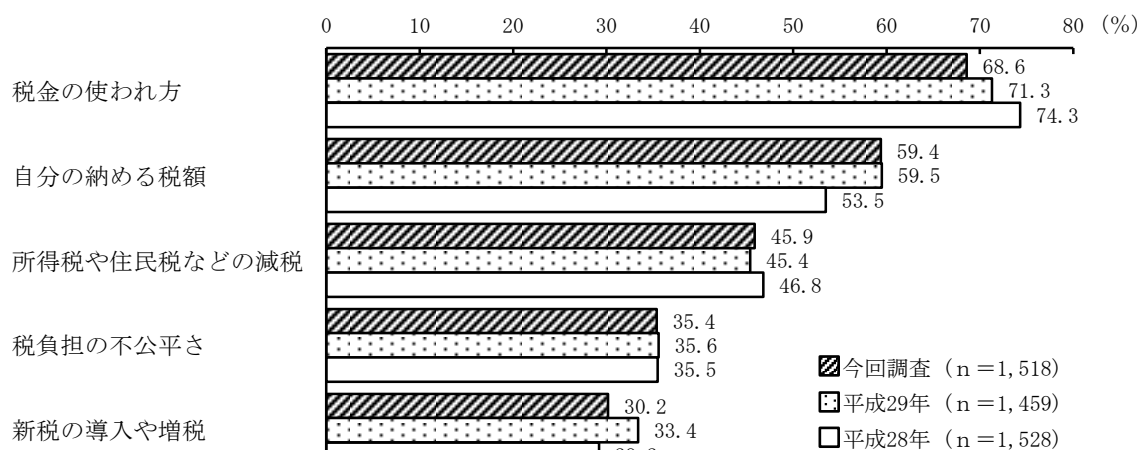
- ・『関心がある』は82%（昨年より1ポイント増加）
- ・『関心がない』は14%（昨年より1ポイント増加）



(注)『関心がある』は「大に関心がある」「少し関心がある」の合計

[税金への関心の内容]：「大に関心がある」「少し関心がある」と答えた人（1,518人）に、その内容を聞いた。(M. A.)（上位5位）

- ・「税金の使われ方」が69%でトップ（昨年より3ポイント減少）
- ・「自分の納める税額」59%、「所得税や住民税などの減税」46%が続く

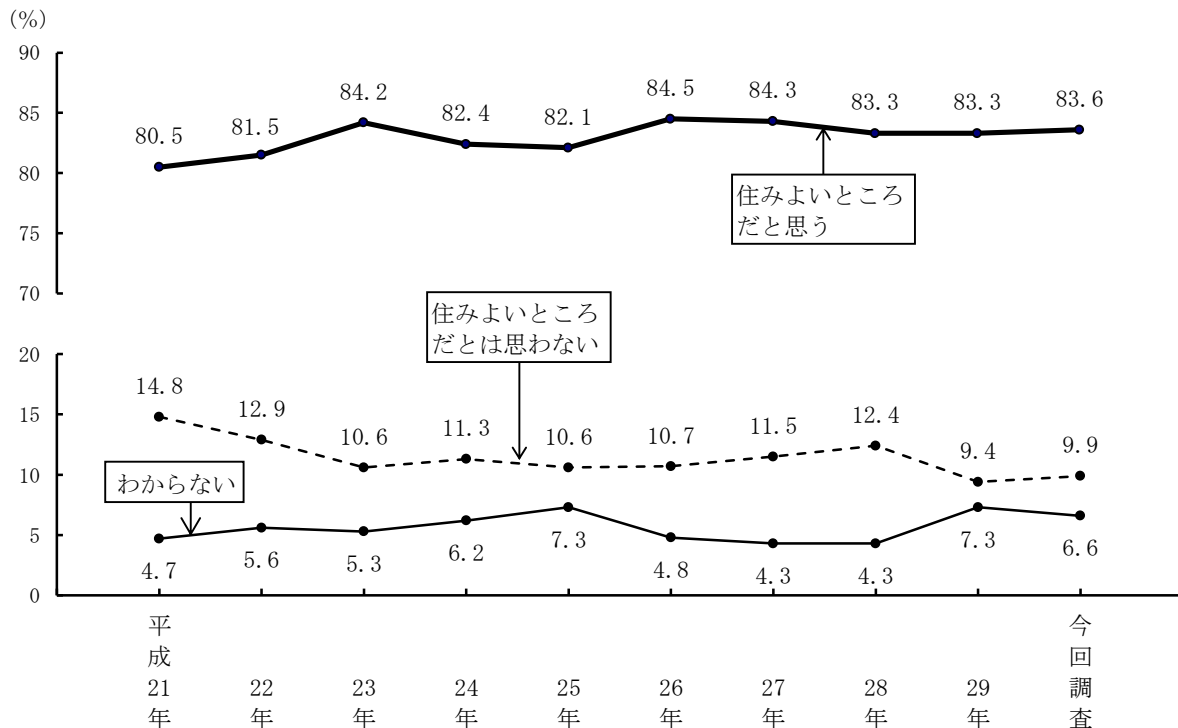


## 2 住んでいる地域

(1) 地域の住みよさ：今住んでいるところが住みよいところだと思うか聞いた。

(本文P46～P49)

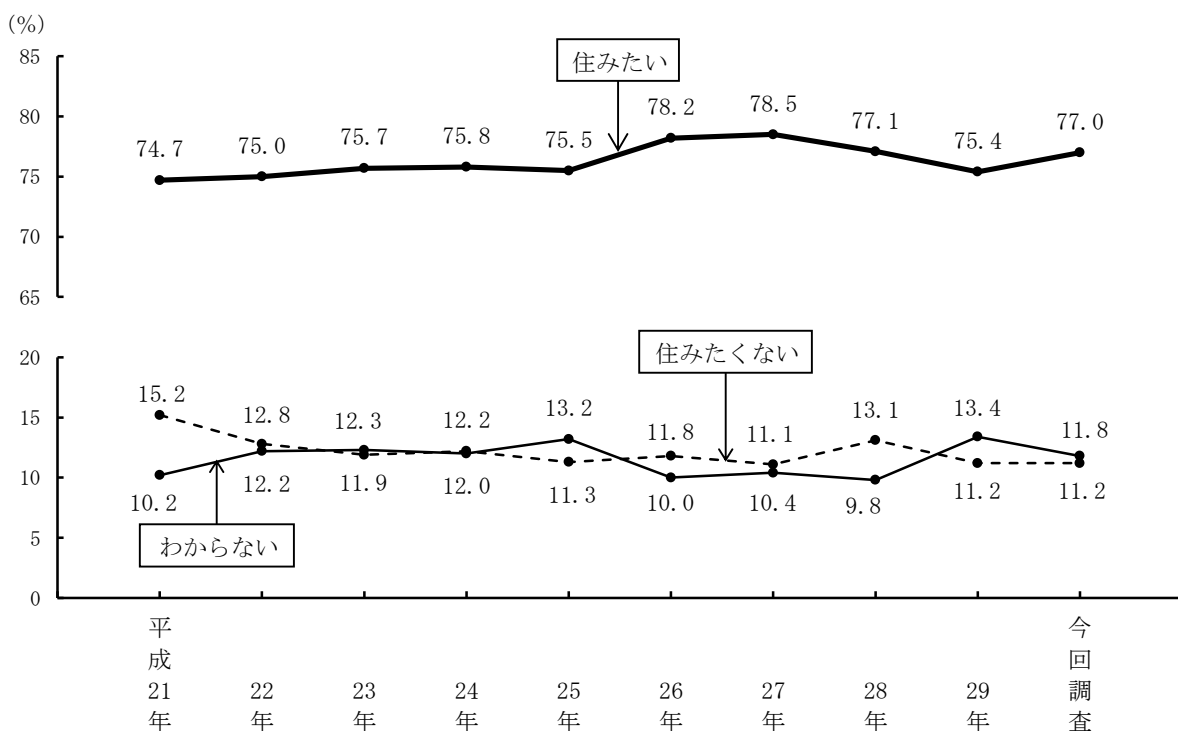
- ・「住みよいところだと思う」は84%（昨年とほぼ同様）
- ・「住みよいところだとは思わない」は10%（昨年より1ポイント増加）



(2) 地域定住意向：今住んでいる地域に今後も住みたいと思うか聞いた。

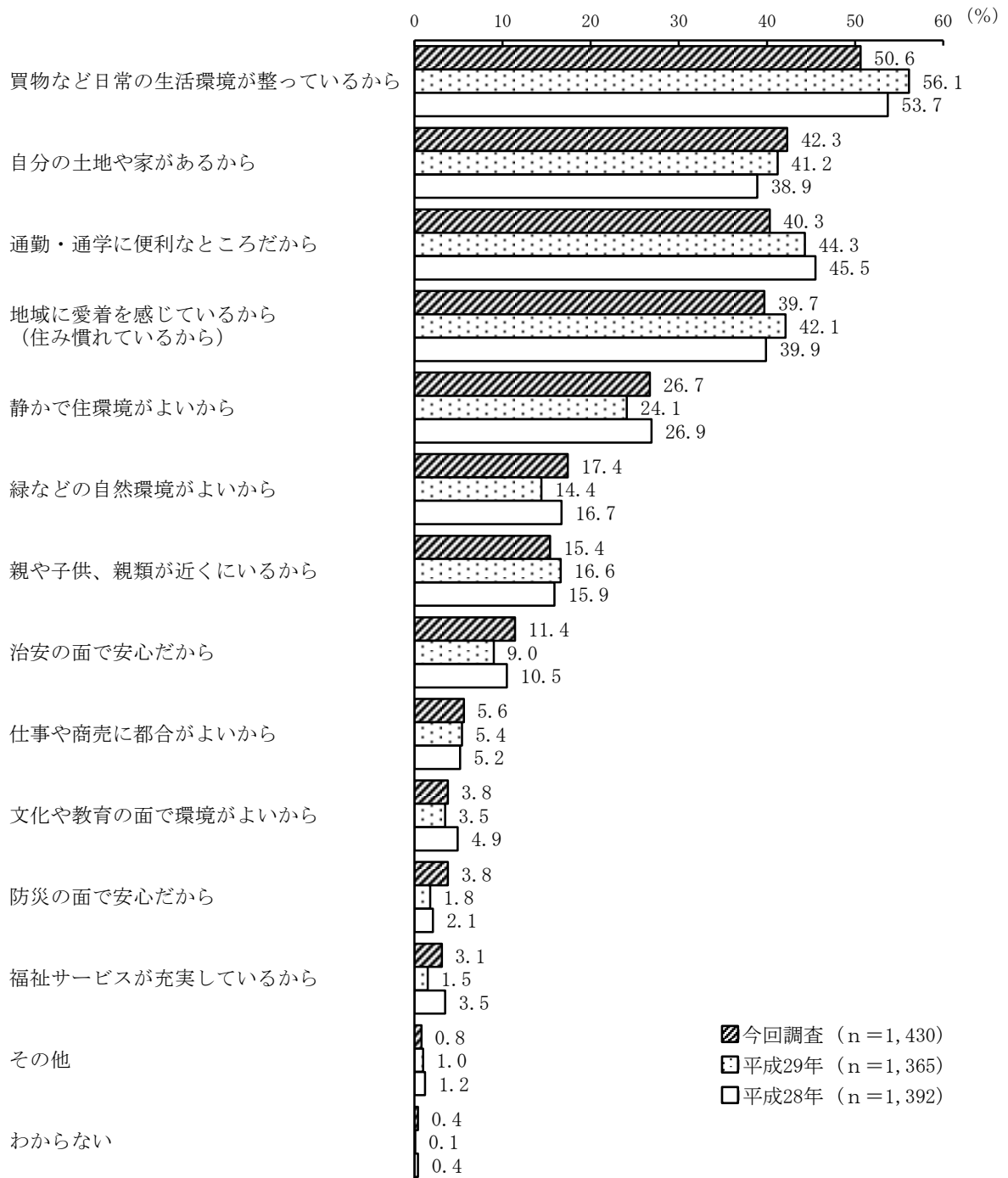
(本文P50～P59)

- ・「住みたい」は77%（昨年より2ポイント増加）
- ・「住みたくない」は11%（昨年と同様）



[居住地域に住みたい理由]: 「住みたい」と答えた人 (1,430人) に、その理由を聞いた。(3M. A.)

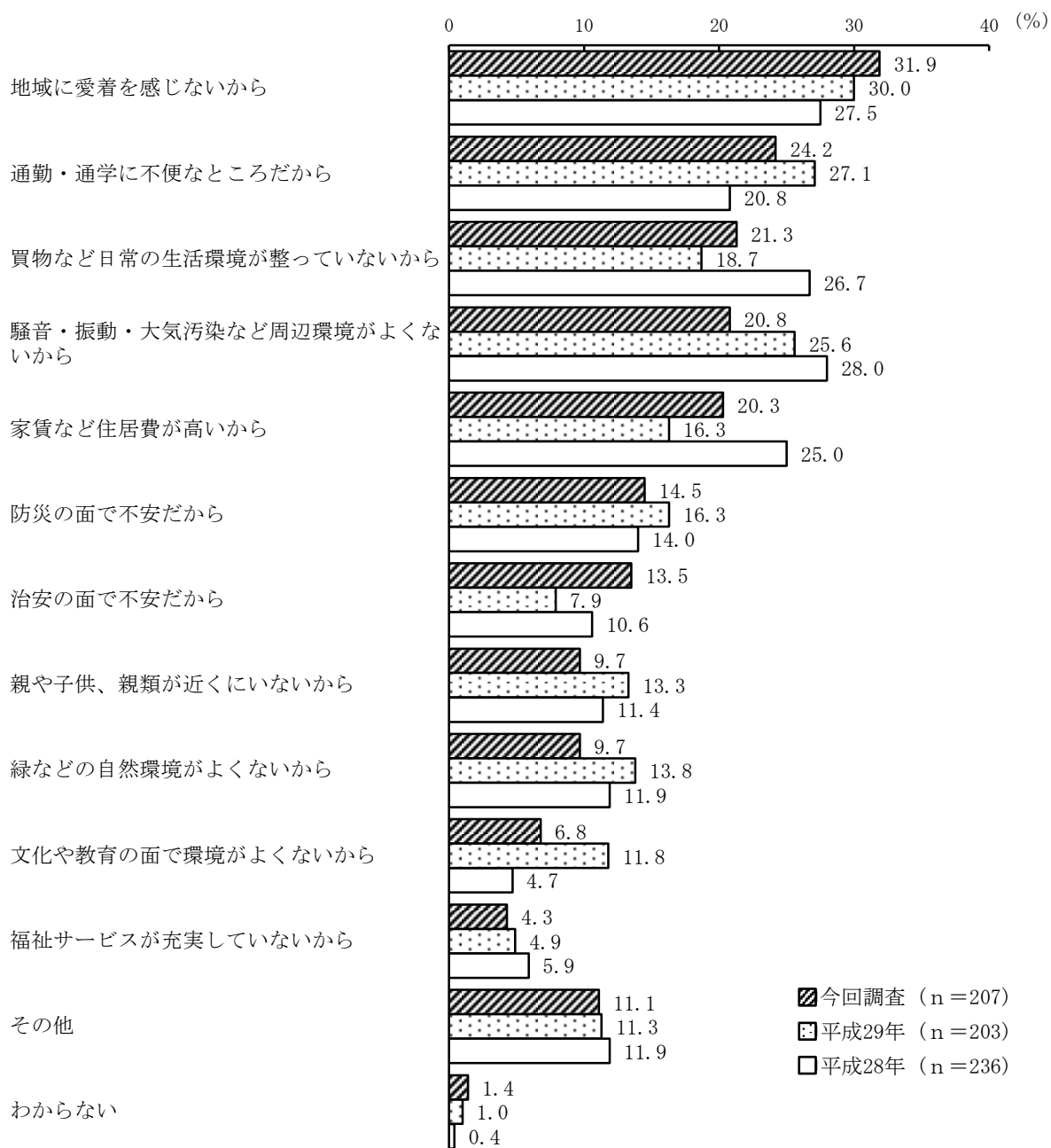
- ・「買物など日常の生活環境が整っているから」が51%でトップ (昨年より6ポイント減少)
- ・「自分の土地や家があるから」42%、「通勤・通学に便利なところだから」40%、「地域に愛着を感じているから (住み慣れているから)」40%が続く



[居住地域に住みたくない理由]：「住みたくない」と答えた人（207人）に、その理由を聞いた。

(3M. A.)

- ・「地域に愛着を感じないから」が32%でトップ（昨年より2ポイント増加）
- ・「通勤・通学に不便なところだから」24%、「買物など日常の生活環境が整っていないから」と「騒音・振動・大気汚染など周辺環境がよくないから」21%、「家賃など住宅費が高いから」20%が続く

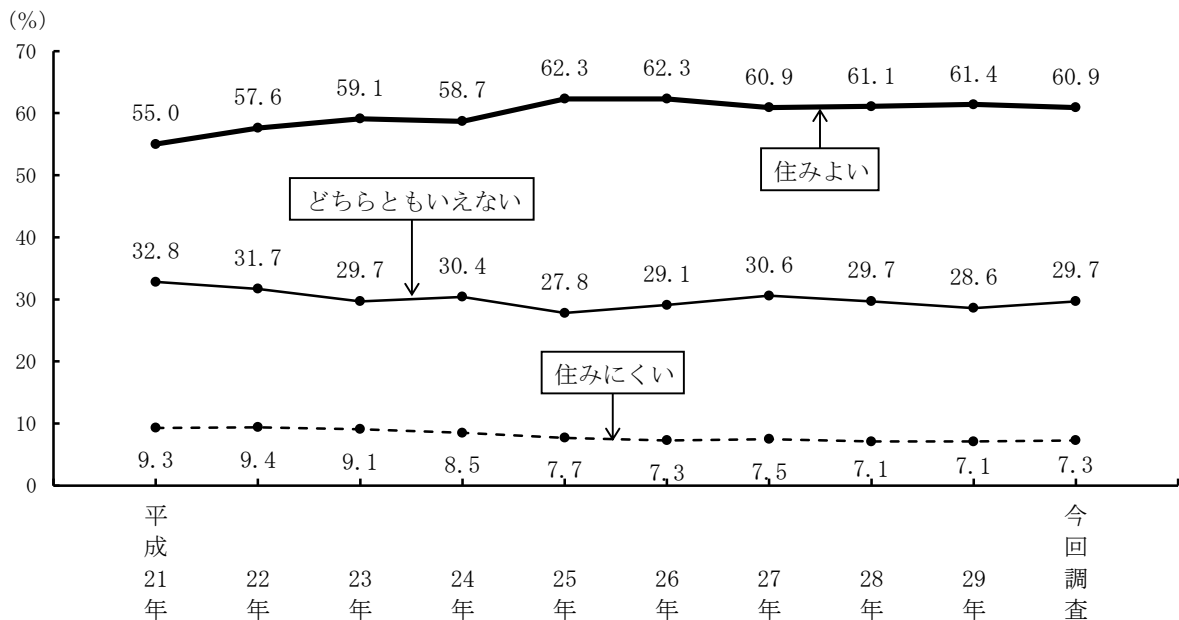


### 3 東京

(1) 東京の住みよさ：東京は全般的にみて住みよいところだと思うか聞いた。

(本文 P 60～P 65)

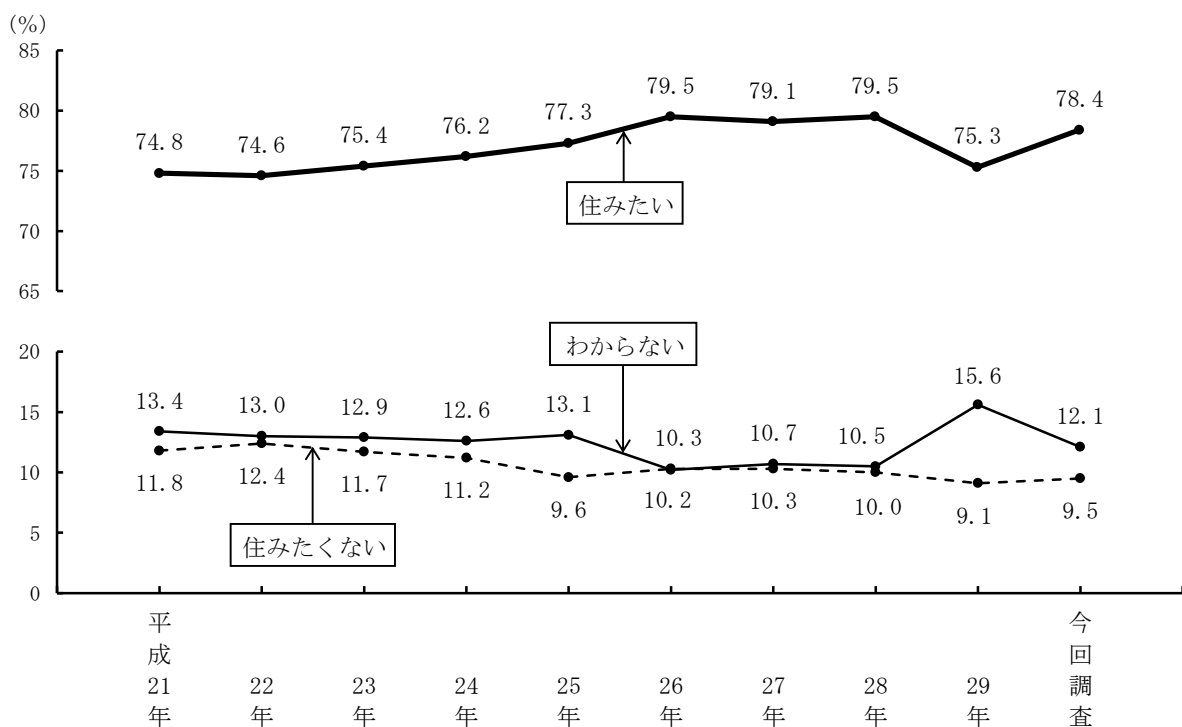
- ・「住みよい」は61%（昨年より1ポイント減少）
- ・「住みにくい」は7%（昨年とほぼ同様）
- ・「どちらともいえない」は30%（昨年より1ポイント増）



(2) 東京定住意向：東京に今後もずっと住みたいと思うか聞いた。

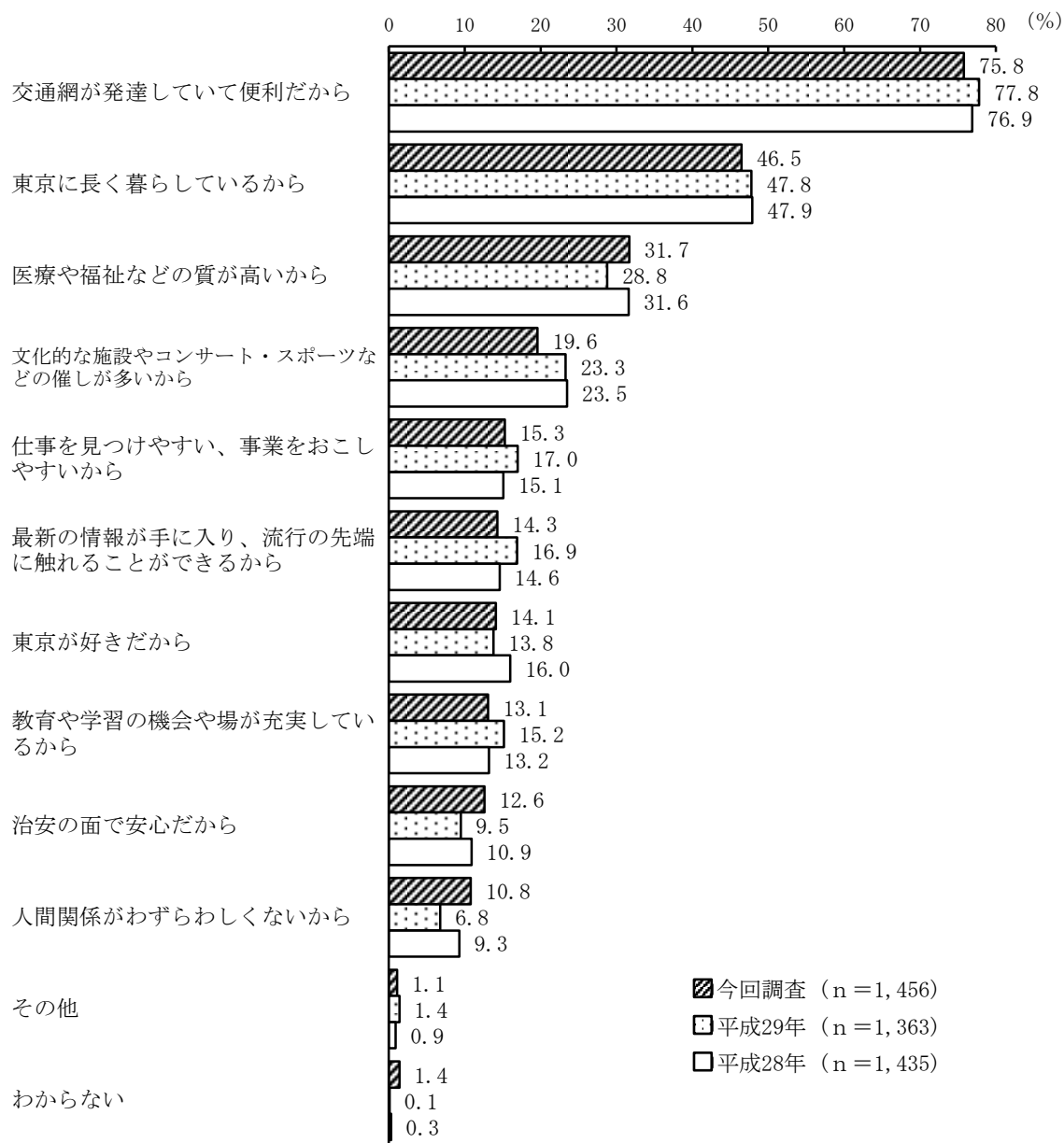
(本文 P 66～P 78)

- ・「住みたい」は78%（昨年より3ポイント増加）
- ・「住みたくない」は10%（昨年とほぼ同様）



[東京に住みたい理由]：「住みたい」と答えた人（1,456人）に、その理由を聞いた。（3M. A.）

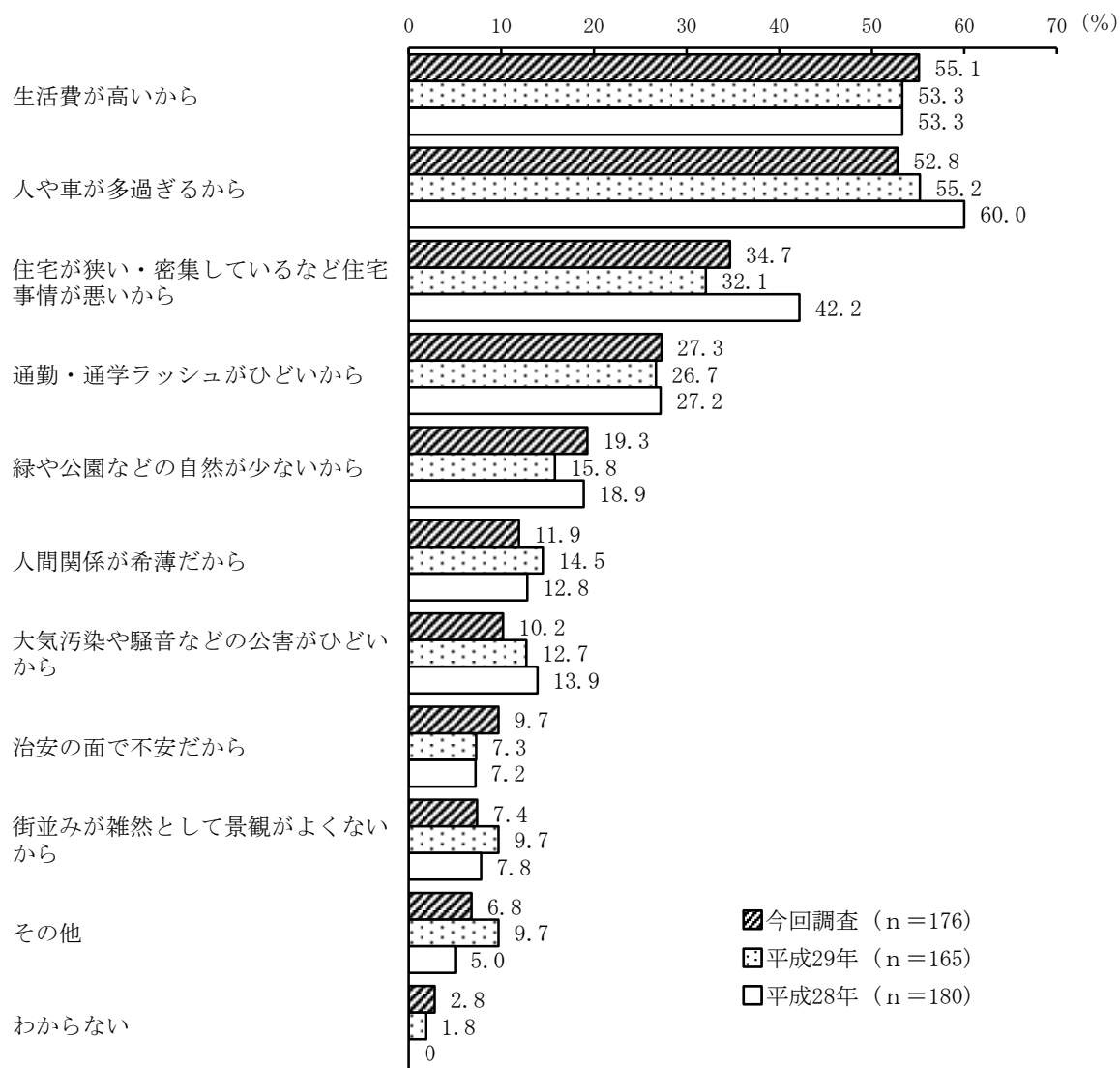
- ・「交通網が発達していて便利だから」が76%でトップ（昨年より2ポイント減少）
- ・「東京に長く暮らしているから」47%、「医療や福祉などの質が高いから」32%が続く



[東京に住みたくない理由]：「住みたくない」と答えた人（176人）に、その理由を聞いた。

(3M. A.)

- ・「生活費が高いから」が55%でトップ（昨年より2ポイント増加）
- ・「人や車が多過ぎるから」53%、「住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから」35%が続く



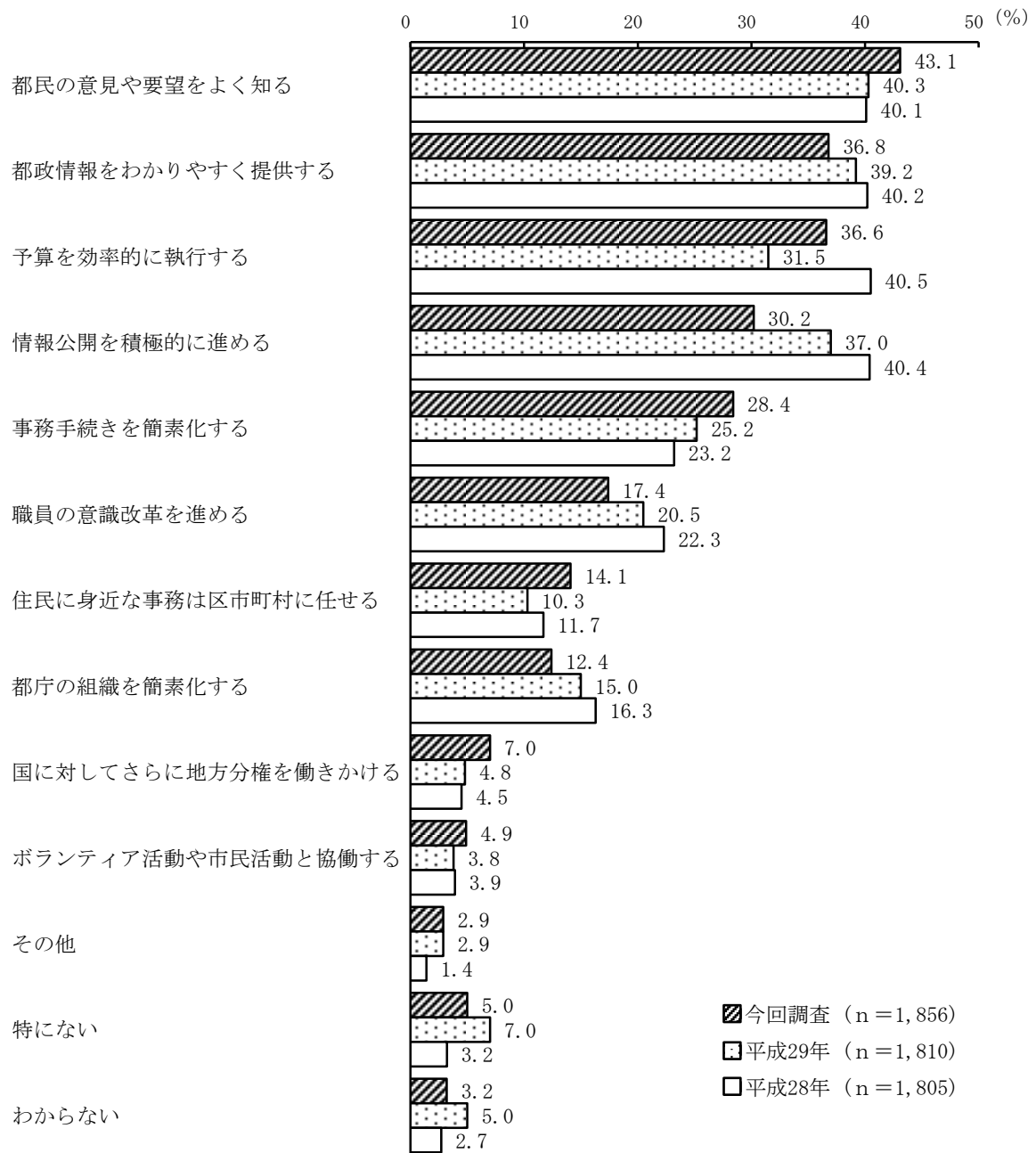
## 4 都政への要望

(1) これからの都政の進め方：これからの都政の進め方に対して、特に望むことを聞いた。

(3M. A.)

(本文P 79～P 81)

- ・「都民の意見や要望をよく知る」が43%でトップ（昨年より3ポイント増加）
- ・「都政情報をわかりやすく提供する」と「予算を効率的に執行する」37%が続く

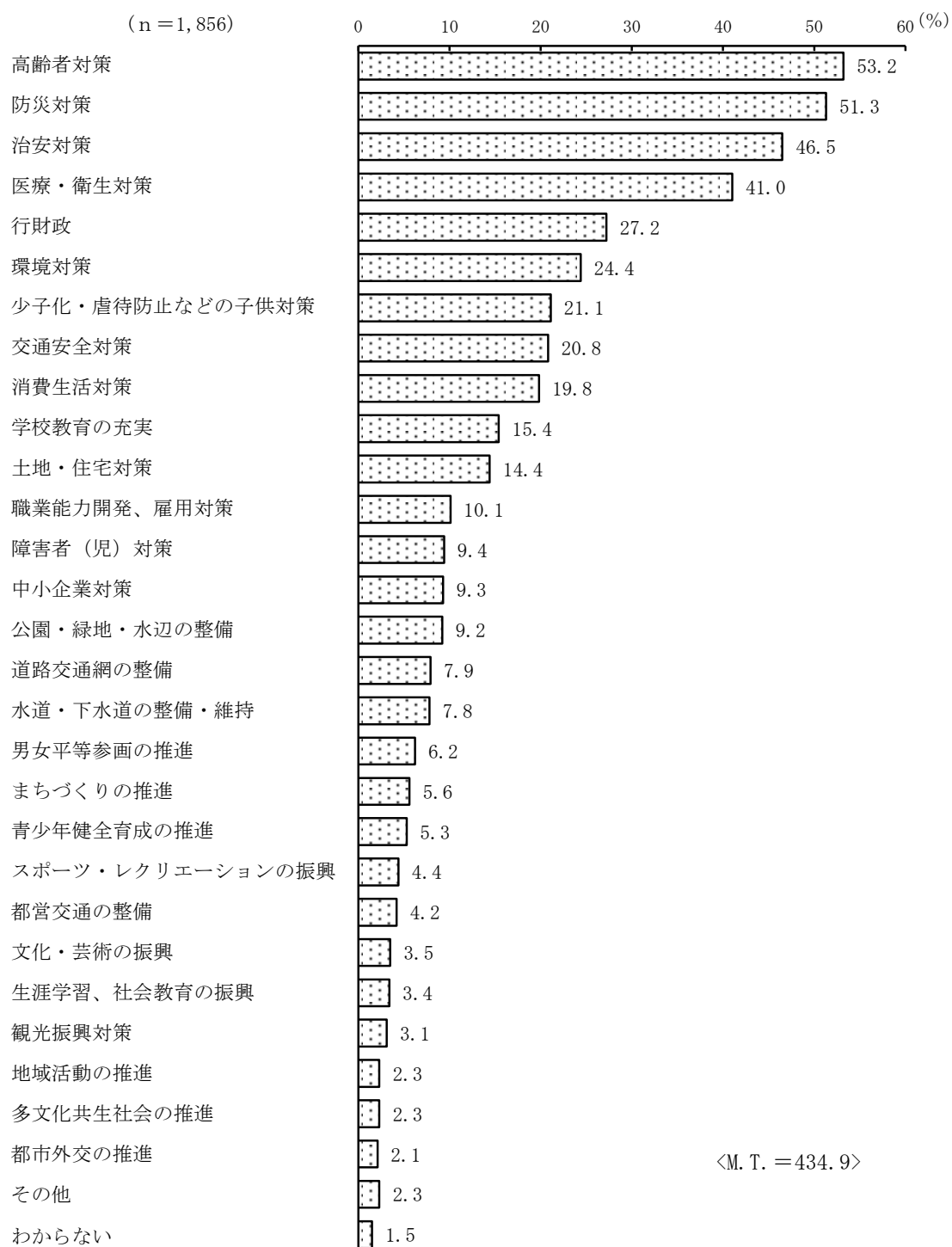




(2) 都政への要望：東京都に対して特に力を入れてほしい施策を聞いた。(5M. A.)

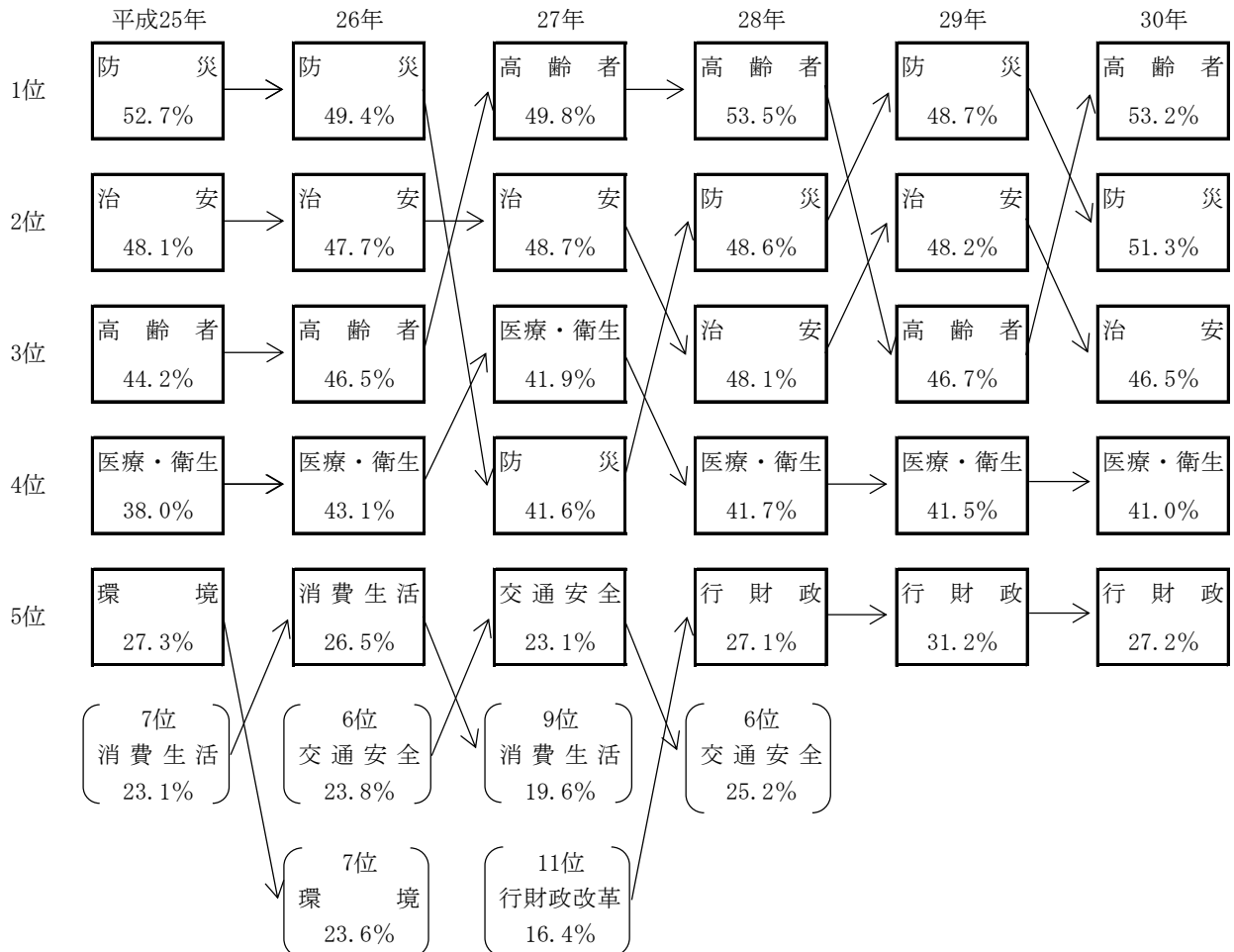
(本文 P82～P85)

- ・「高齢者対策」が53%でトップ
- ・「防災対策」51%、「治安対策」47%、「医療・衛生対策」41%、「行財政」27%が続く



[上位5位の推移]

- ・「高齢者対策」は昨年より7ポイント増加して1位
- ・「防災対策」は昨年より3ポイント増加しての2位、「治安対策」は昨年より2ポイント減少して3位

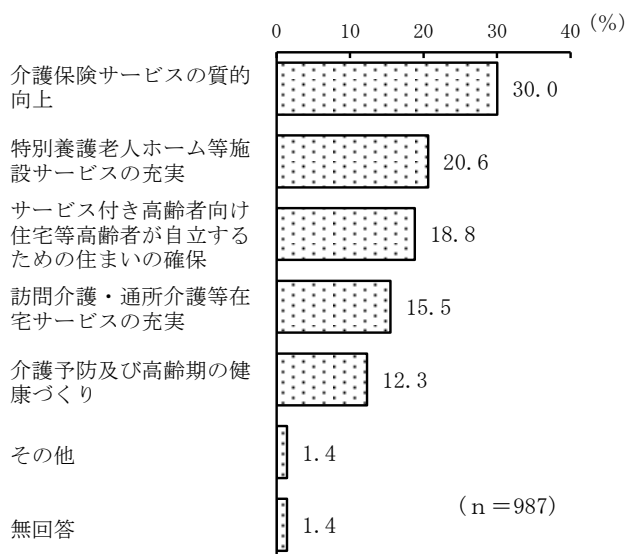


(注) 平成28年から「行財政改革」を「行財政」、「市民活動の促進」を「地域活動の推進」に表現を変えている

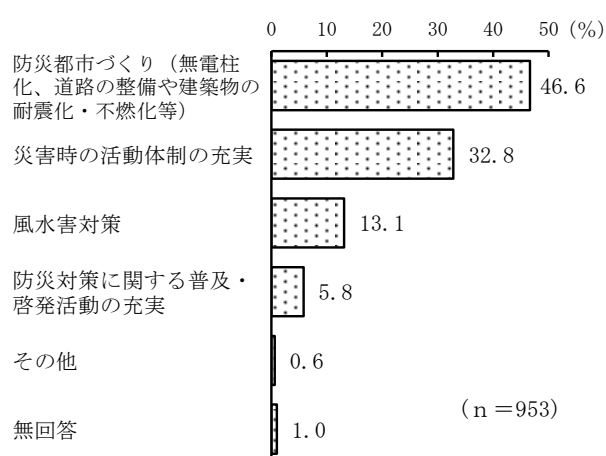
(3) 具体的な要望施策（上位5位について）：力を入れてほしい分野について、具体的な内容を示して聞いた。

(本文 P86～P91)

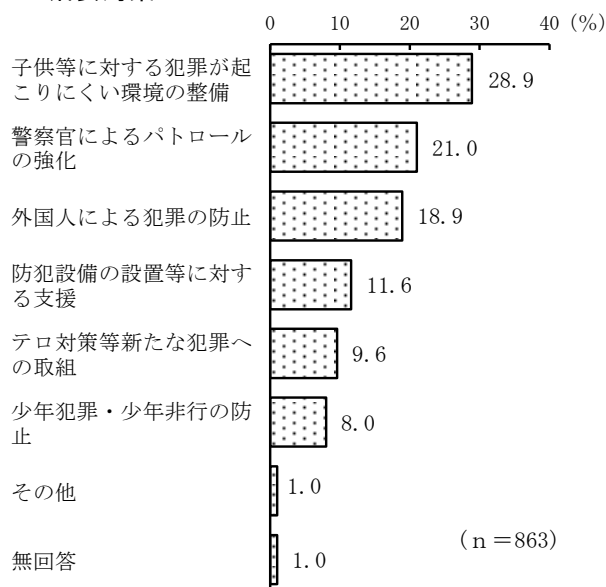
### 1 高齢者対策



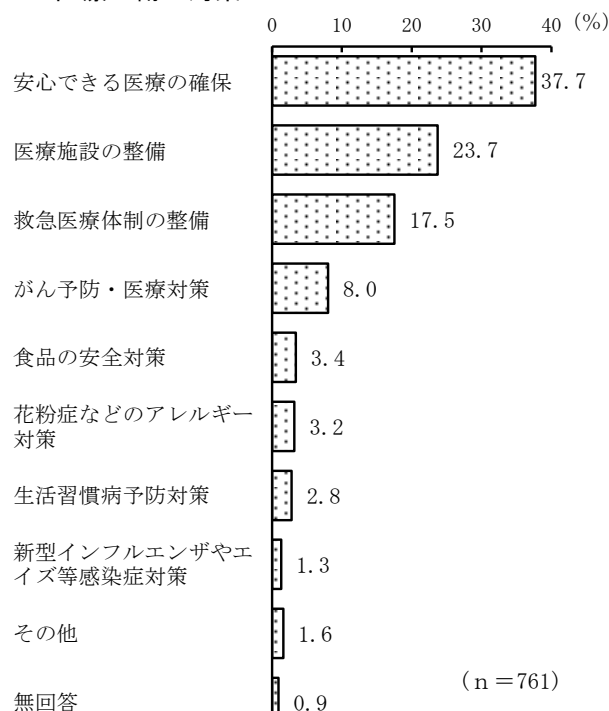
### 2 防災対策



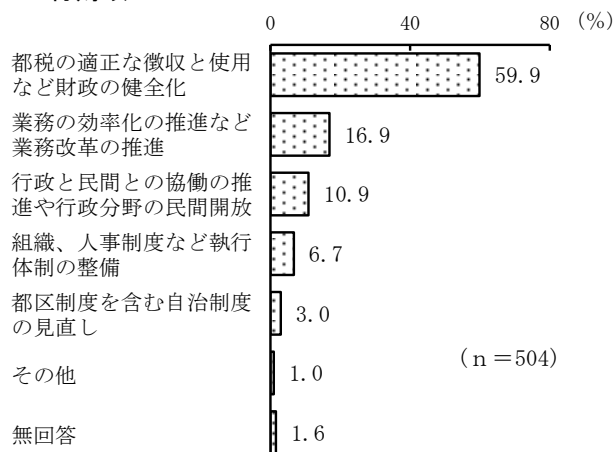
### 3 治安対策



### 4 医療・衛生対策



### 5 行財政



## 5 多文化共生

(1) 多文化共生の認知：“多文化共生”という言葉を知ったことがあるかを聞いた。

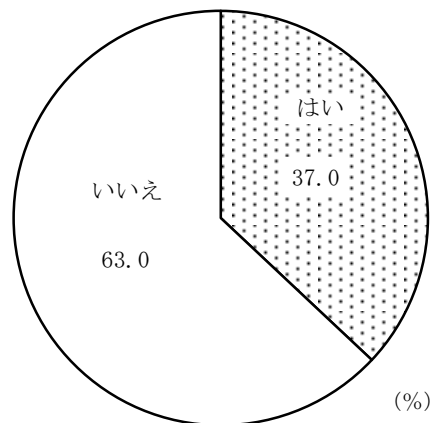
(本文P92～P94)

\* 「多文化共生」(総務省による定義)

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと

- ・「はい」は37%
- ・「いいえ」は63%

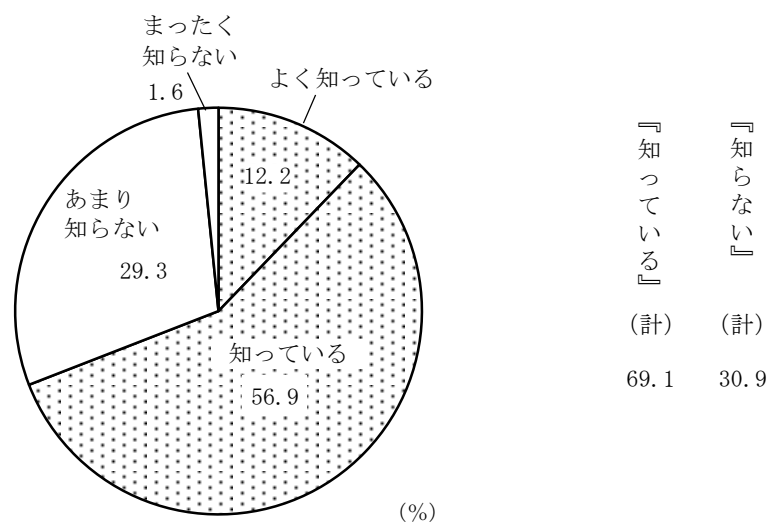
(n=1,856)



[“多文化共生”という言葉の意味]: 「はい」と答えた人(687人)に、言葉の認知度を聞いた。

- ・『知っている』は69%

(n=687)

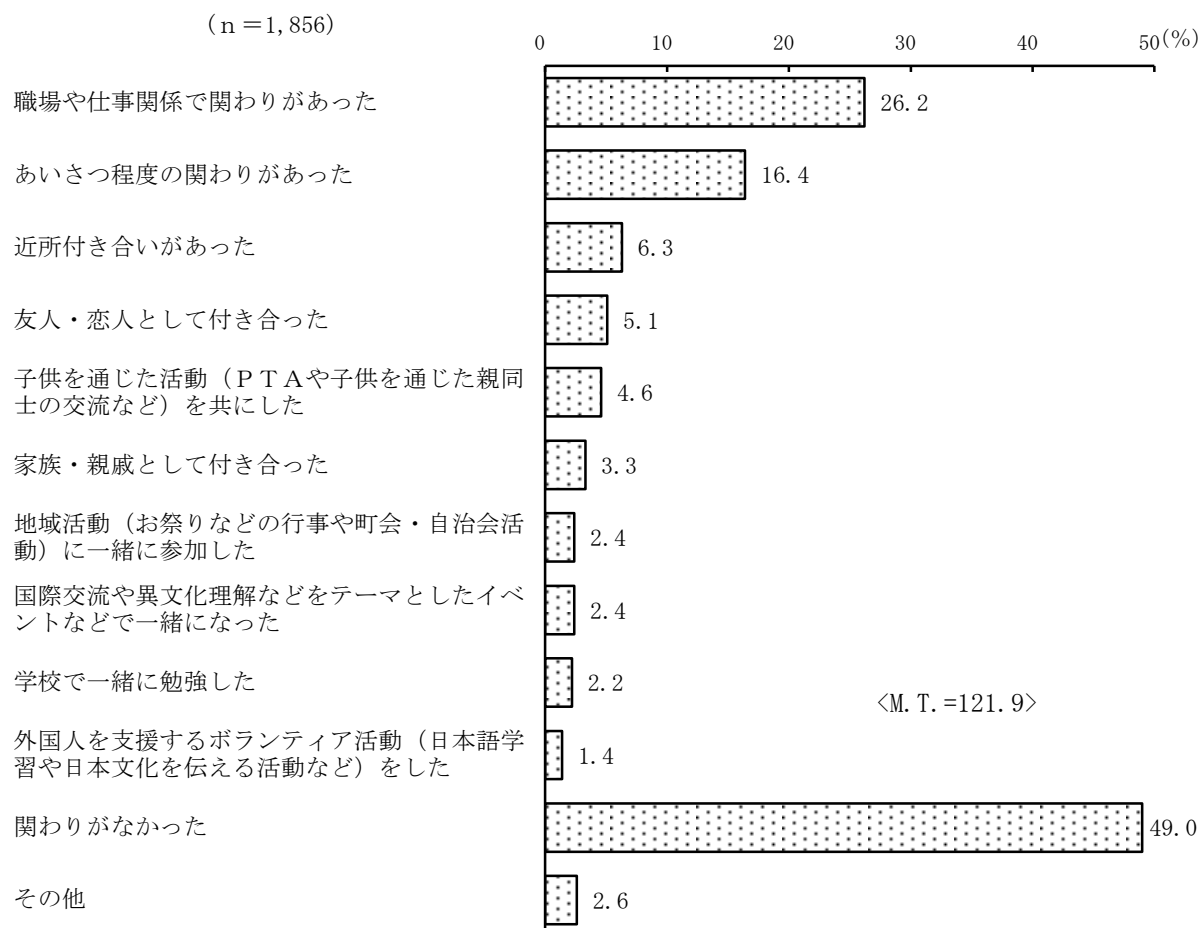


(注) 『知っている (計)』は「よく知っている」「知っている」の合計  
『知らない (計)』は「まったく知らない」「あまり知らない」の合計

(2) 外国人との関わり：この1年間で東京に暮らす外国人との関わりを聞いた。(M. A.)

(本文 P95～P96)

- ・「職場や仕事関係で関わりがあった」が26%でトップ
- ・「あいさつ程度の関わりがあった」16%、「近所付き合いがあった」6%が続く
- ・一方、「関わりがなかった」は49%と、一番多くなっている。

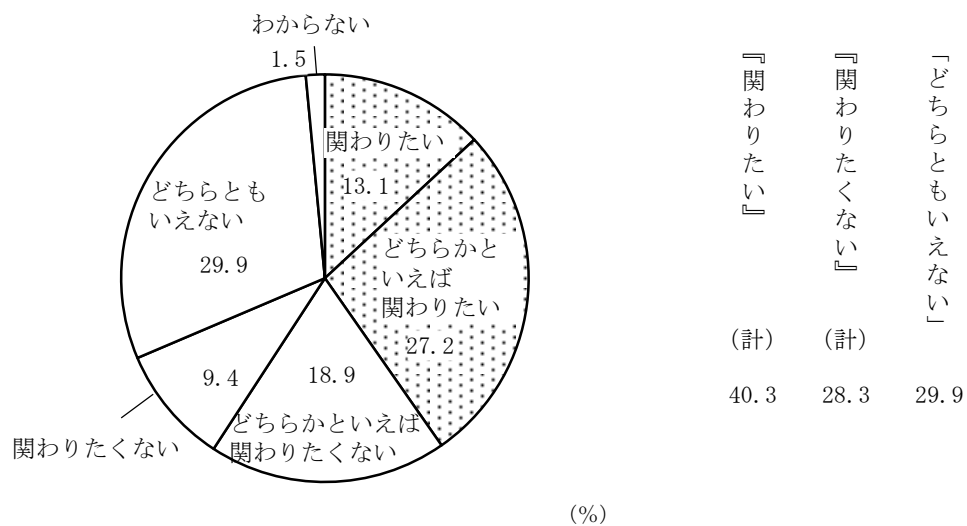


(3) 今後の関わり方：東京に暮らす外国人との今後の関わりを聞いた。

(本文 P97～P98)

- ・『関わりたい』が40%
- ・『関わりたくない』が28%
- ・「どちらともいえない」30%

(n = 1,856)

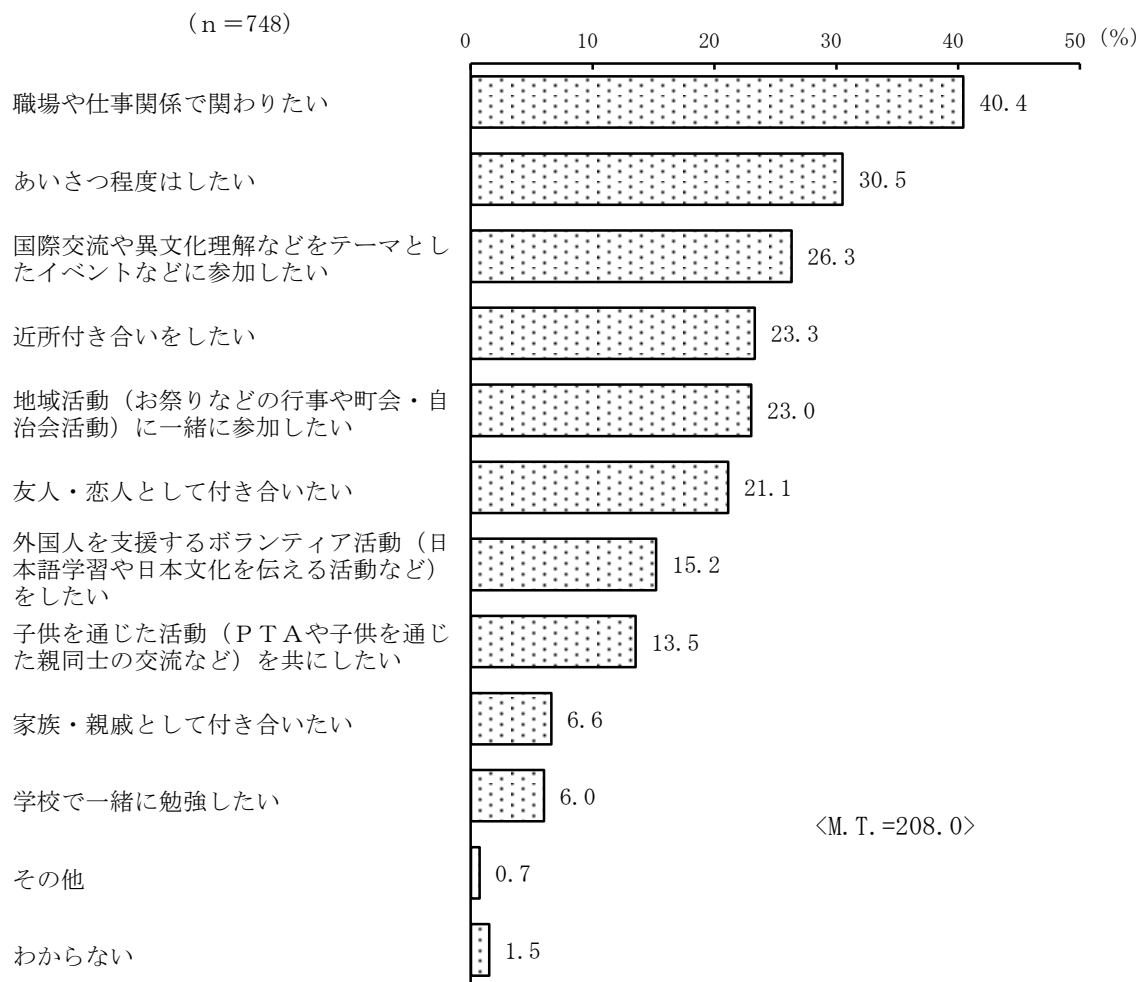


(注) 『関わりたい (計)』は「関わりたい」「どちらかといえば関わりたい」の合計

『関わりたくない (計)』は「関わりたくない」「どちらかといえば関わりたくない」の合計

(4) 具体的な関わり方：『関わりたい』と答えた人（748人）に、具体的な内容を聞いた。（M. A.）  
 （本文P99～P100）

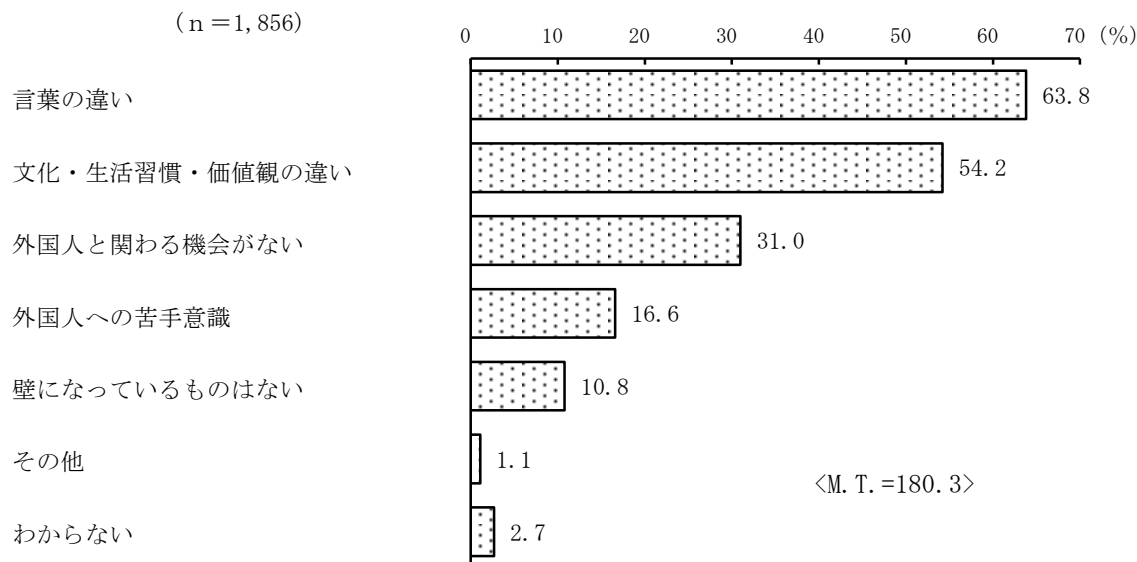
- ・「職場や仕事関係で関わりたい」が40%でトップ
- ・「あいさつ程度はしたい」31%、「国際交流や異文化理解などをテーマとしたイベントなどに参加したい」26%が続く



(5) 壁に感じていること：東京に暮らす外国人と関わるに当たり、壁になっていると感じるものを聞いた。(3M. A.)

(本文P101～P102)

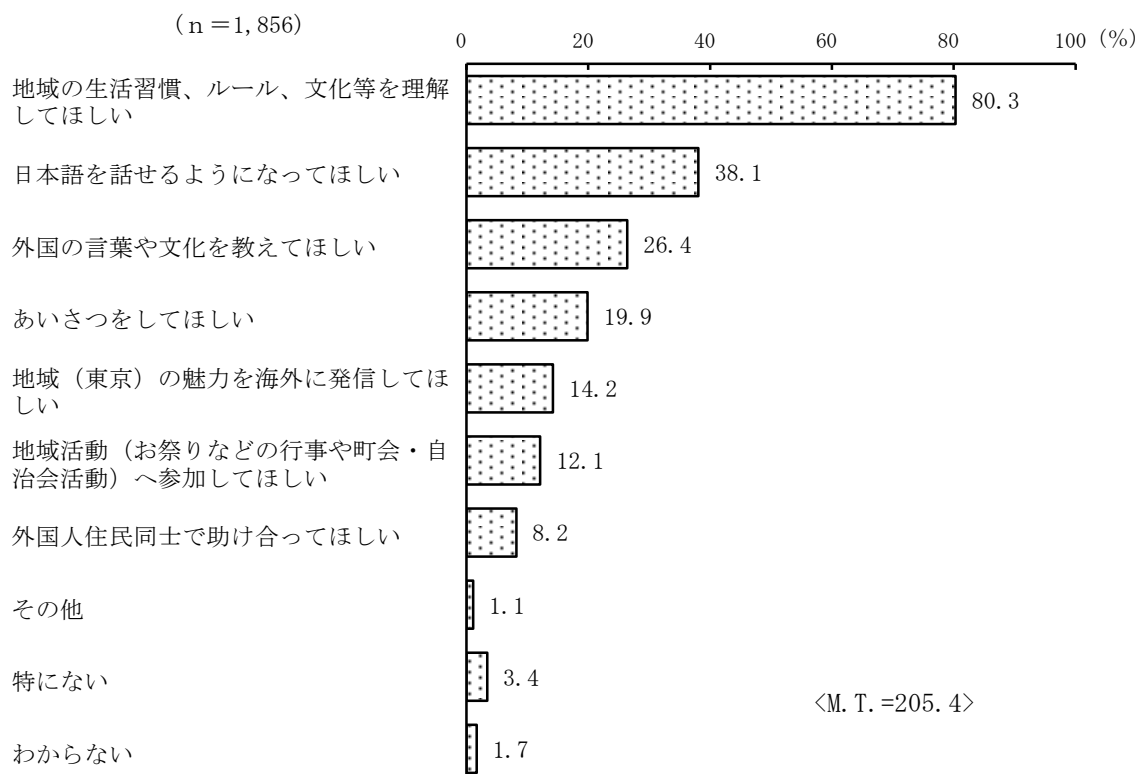
- ・「言葉の違い」が64%でトップ
- ・「文化・生活習慣・価値観の違い」54%、「外国人と関わる機会がない」31%が続く



(6) 外国人に望むこと：東京に暮らす外国人が地域社会の一員として生活していく上で、してほしいと思うことを聞いた。(3M. A.)

(本文P103～P104)

- ・「地域の生活習慣、ルール、文化等を理解してほしい」が80%でトップ
- ・「日本語を話せるようになってほしい」38%、「外国の言葉や文化を教えてほしい」26%が続く



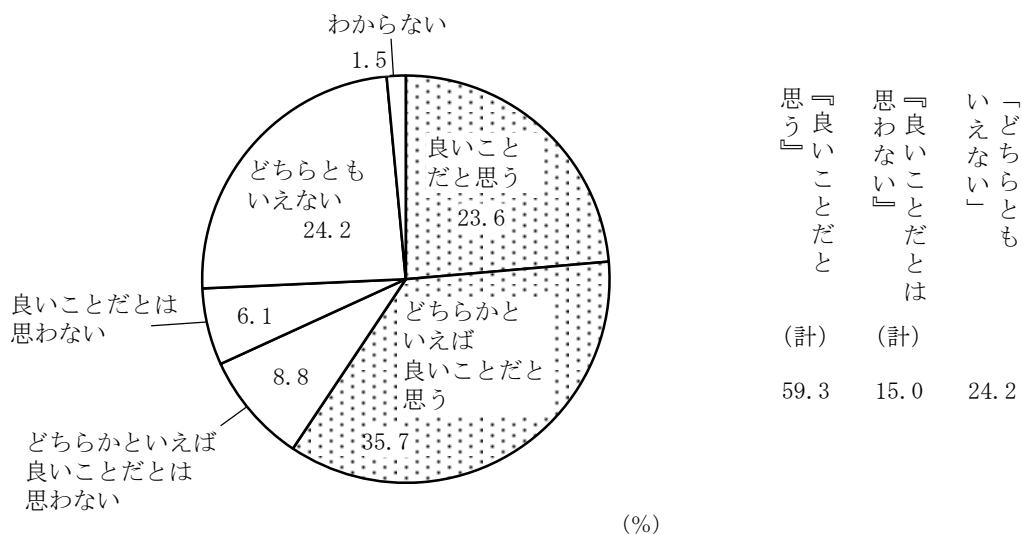


(7) 外国人が増えることについての考え：東京に暮らす外国人が増えることについて聞いた。

(本文P105～P107)

- ・『良いことだと思う』が59%
- ・『良いことだとは思わない』が15%
- ・「どちらともいえない」24%

(n=1,856)

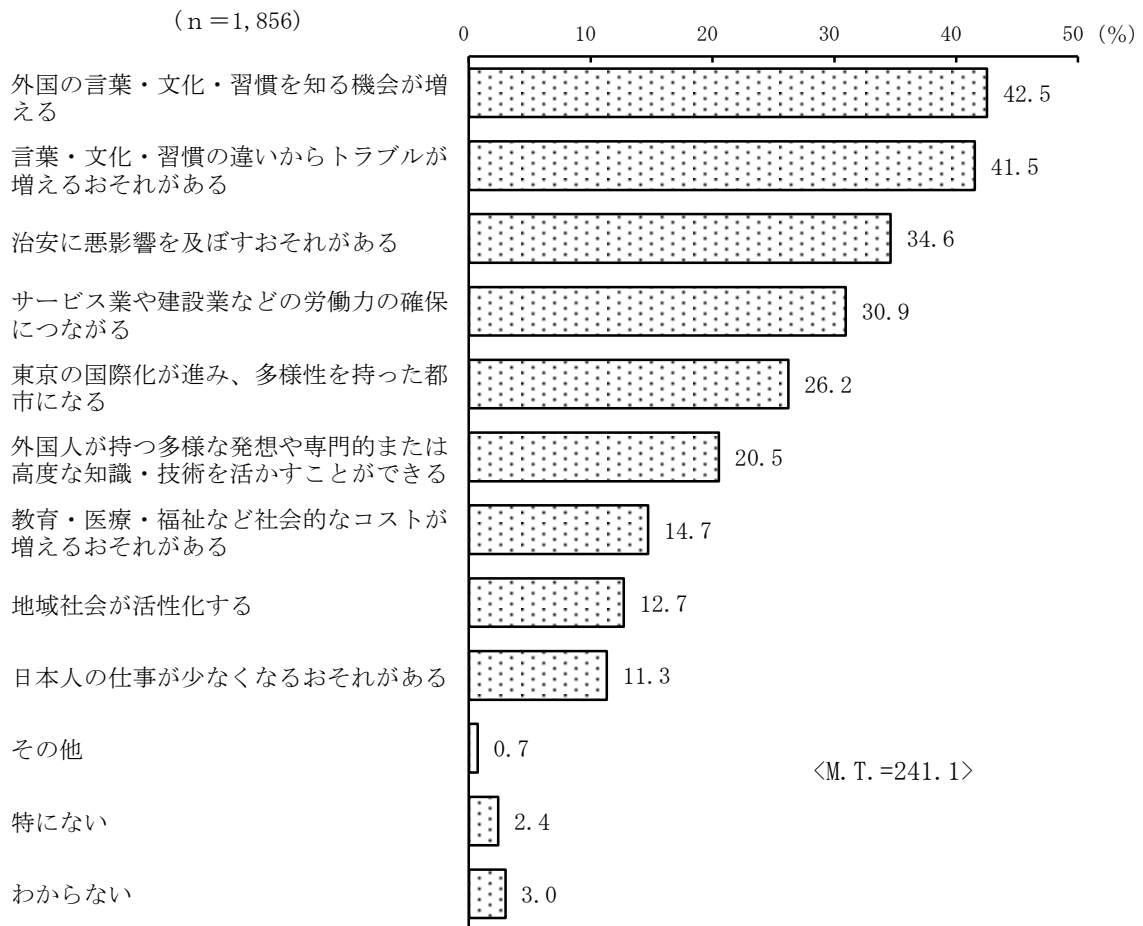


(注) 『良いことだと思う (計)』は「良いことだと思う」「どちらかといえば良いことだと思う」の合計

『良いことだとは思わない (計)』は「良いことだとは思わない」「どちらかといえば良いことだとは思わない」の合計

(8) 外国人が増えることの影響: 東京に暮らす外国人が増えることによる影響を聞いた。(3M. A.)  
 (本文 P 108～ P 109)

- ・「外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増える」が43%でトップ
- ・「言葉・文化・習慣の違いからトラブルが増えるおそれがある」42%、「治安に悪影響を及ぼすおそれがある」35%、「サービス業や建設業などの労働力の確保につながる」31%が続く



(9) 行政に求めること：多文化共生の社会づくりに向けて、行政が力を入れるべきだと思うことを聞いた。(5M. A.)

(本文P110～P111)

- ・「外国人に対して日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどを周知する」が75%でトップ
- ・「外国人に対して日本語の学習を支援する」43%、「外国人に対する相談体制を充実する」36%、「日本人に対して外国の生活ルールや習慣、文化の違いなどを周知する」31%が続く

